



SHIGA H2 consortium



しがCO₂
ネットゼロ
ムーブメント

しが水素拠点形成コンソーシアム全体会 滋賀県報告資料

令和 8 年 3 月 1 9 日
滋賀県総合企画部CO₂ ネットゼロ推進課



1 滋賀県の水素に関する取組の方向性について

2 水素の需要拡大に向けた取組について

3 水素の供給体制の構築に向けた取組について

4 令和8年度 of 取組について

1

滋賀県の水素に関する取組の方向性について

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例(R4.3改定)

(水素エネルギーの利用の促進)

第50条 県は、水素エネルギーの利用の促進を図るため、水素エネルギーの供給体制の整備および需要の拡大に向けた事業者その他の関係者の間の連携の促進、水素エネルギーの利用の重要性に関する普及啓発その他の必要な措置を講ずるものとする。

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくり推進計画(R8.3改定予定)

第5. 革新的なイノベーションの創出

■ 水素エネルギー利活用の促進

・次世代エネルギーとして期待が高まる水素エネルギーを活用した滋賀発の革新的イノベーションの創出を図るため、県内に集積する水素関連事業者や交通利便性といったポテンシャルを背景に、「しが水素拠点形成コンソーシアム」のもと、供給体制を整備するとともに、需要の創出・事業の具体化を図るため、事業者等の動き出しの促進を図ります。

・燃料電池フォークリフト等、企業による実証実験を行い、普及拡大を図ります。

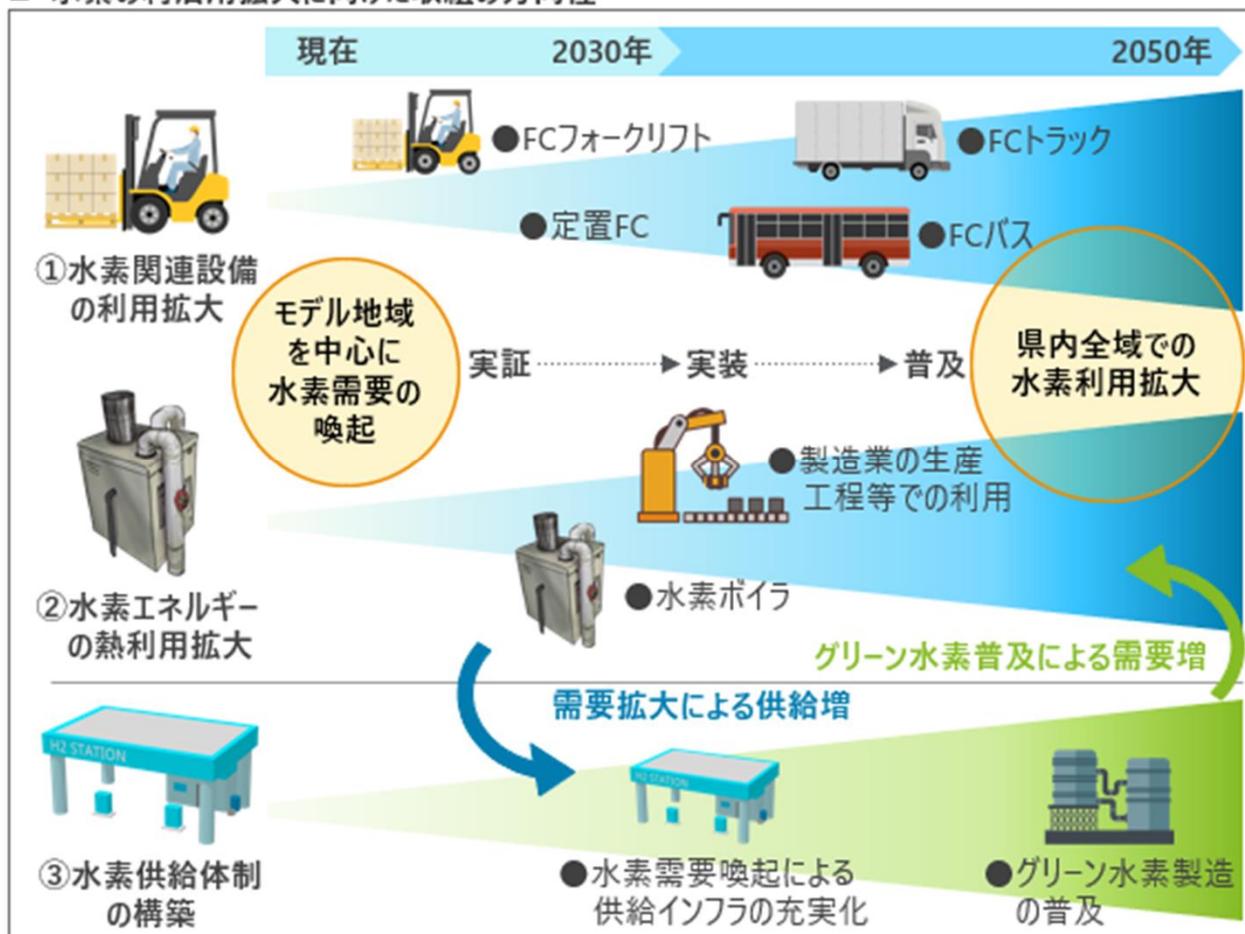
重点



◆滋賀らしい「水素社会づくり」の推進に向けた方向性

- 「内陸工業県」や「交通の要衝」といった本県の特徴を「滋賀らしさ」と捉え、これを踏まえた取組を推進
- 工場や物流拠点が集中する地域を中心に水素利活用を展開
- 水素の需要家になり得る製造業が多い本県においては、需給両面での取組を展開しながら水素サプライチェーンの構築を図っていく。

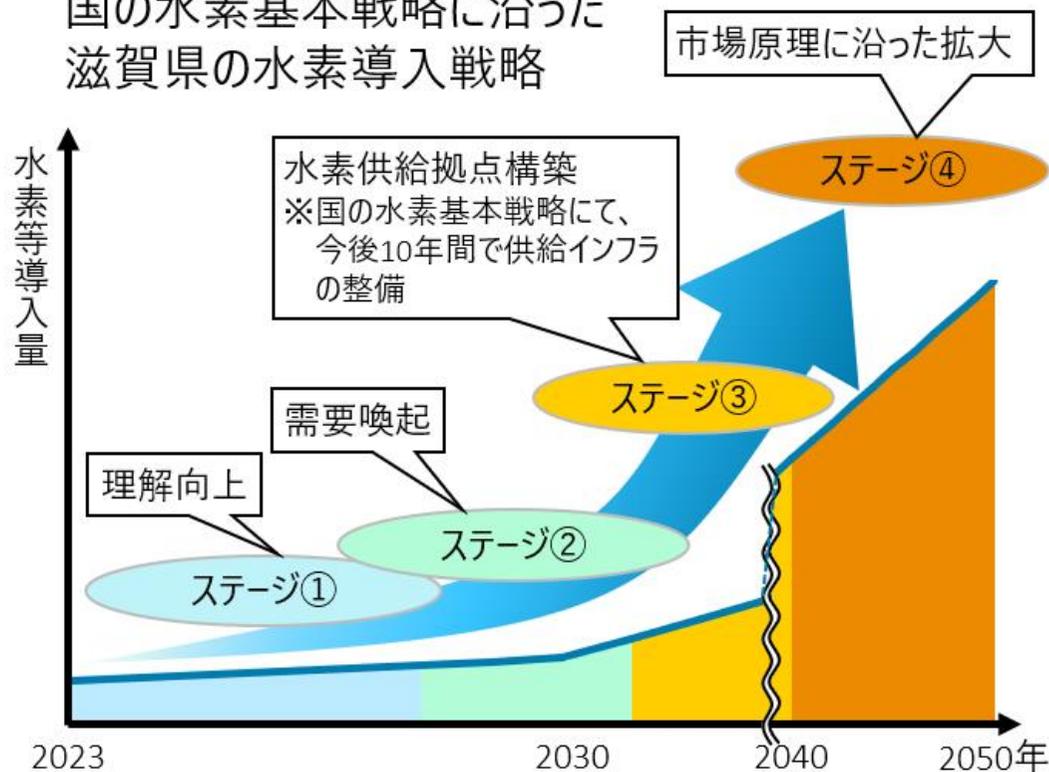
■ 水素の利活用拡大に向けた取組の方向性



◆滋賀県の水素サプライチェーン構築に向けた考え方

広範囲での需要創出に向け、足下の取組として実証等による水素に関する理解向上を図りつつ、水素供給拠点構築を目指した取組を段階的に進めていく。

国の水素基本戦略に沿った 滋賀県の水素導入戦略



国の目標	200万トン (現状)	300万トン	1,200万トン	2,000万トン
------	-------------	--------	----------	----------

市場の立ち上がり期の公的支援

市場原理による拡大

ステージ①：水素等に関する理解向上

- ✓ 水素が将来的なエネルギー源の一つとして県民や事業者を受け入れられるよう、情報発信を行うとともに、少ない水素量で利用可能な燃料電池フォークリフトや商用化された製品等を用いた実証等を行う。

ステージ②：水素需要喚起

- ✓ 機器購入に対する支援等の施策を行い、需要喚起と民間による投資拡大を促す。

ステージ③：水素供給拠点構築

- ✓ 需要の増加等に合わせた拠点整備に関する支援等を行い、水素拠点構築を図る。

ステージ④：市場原理に沿った拡大

- ✓ 水素供給拠点が構築されたことにより水素コストが低減されれば、市場原理に沿って民間主導の取組が拡大していくと考えられる。

2

水素の需要の拡大に向けた取組について

◆水素エネルギー利活用推進事業



中長期的な水素供給拠点の形成を見据え、足許の取組として水素エネルギーの利活用拡大を図ることを目的に令和6年度より実証等の取組を実施

令和6年度 実証

移動式水素ステーションを用いた
FCFLへの水素巡回供給



ダイハツインフィニアース(株)、セン
コー(株)にて実施

令和8年度

FC発電機や水素吸蔵合金など様々なア
プリケーションを用いたデモンスト
レーションを実施予定

令和7年度 実証

水素ステーションから燃料電池フォークリフトへの水素供給



70MPa



とよた堤水素ST
協力先:豊通エア・リキードハイド
ロジェンエナジー(株)

水素貯蔵モジュール
協力先:トヨタ自動車(株)

45MPa



燃料電池フォークリフト
協力先:豊田自動織機(株)



簡易式水素充填機
協力先:鈴木商館(株)

35MPa

日本ガスケット(株)、高橋金属(株)にて実施

3

水素の供給体制の構築に向けた取組について

<令和6年度検討結果概要> 水素供給拠点の形成イメージ



- 都市ガス等の化石燃料を水素に燃料転換することでCO2ネットゼロを目指すことを想定
- 県内の化石燃料由来によるCO2排出量実績値をもとに滋賀県の**水素需要ポテンシャル**を約20万トン/年と算定
- 水素需要を満たすために県周辺のCNPから産業用水素等を**鉄道輸送**し、**米原エリアに1次受入ハブの形成**を想定
- 1次受入ハブから、県内の**工業団地**など**2次需要ハブ**へ水素等を供給、滋賀県内の**水素需要拡大**に伴い、**2次需要ハブ**が増加
- また、1次受入ハブから高速道路を利用する**長距離トラック・バス**の**中継基地**への水素供給も想定
- さらに、観光バスや観光船等への水素供給による**観光振興の促進**にも期待

◆水素サプライチェーン構築に向けた拠点整備プロジェクト創出事業



令和7年度

事業の趣旨・目的

令和5年度に改定された政府の水素基本戦略の新たな目標（2040年の水素等導入1,200万トン等）を踏まえ、企業等と連携した拠点整備を目指したプロジェクトを創出を促進する。

事業の内容

① 米原における水素受入ハブ形成の実現可能性調査

米原エリアにおける水素1次受入ハブ形成について、水素キャリアや調達手段、受入体制、想定需要先、法規制、コスト感等の整理を行い、想定されるパターンごとにメリット・デメリット比較検討する。

② 企業連携によるプロジェクトの動き出しの促進

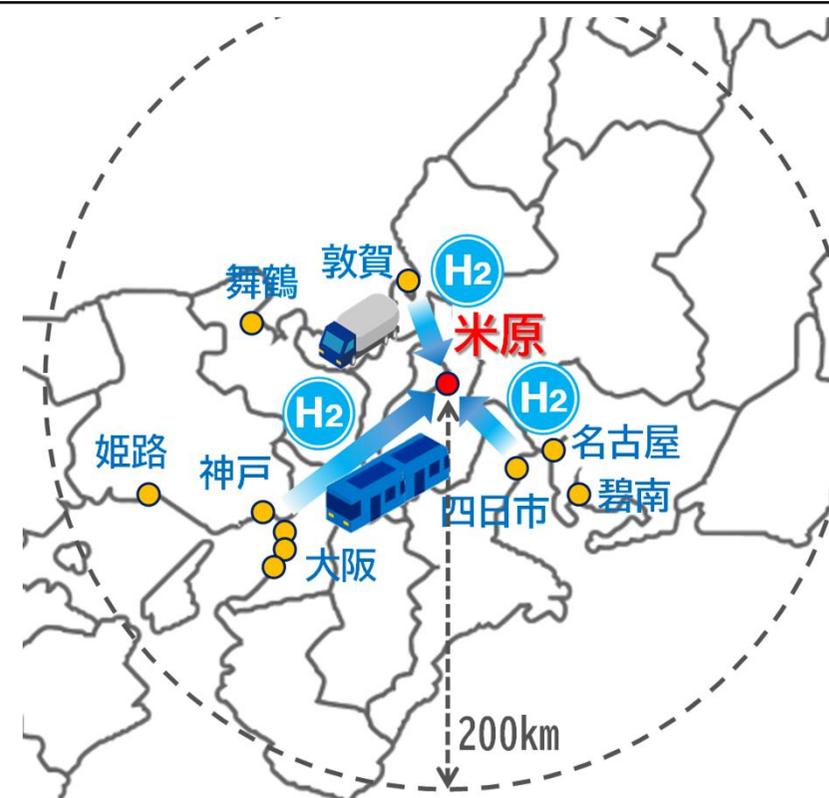
①の調査結果等を活用し、国等の機関との調整やプロジェクト体制の検討等、企業連携によるプロジェクトの動き出しの促進に資する支援等を行う。

<しが水素拠点形成コンソーシアム>

「内陸工業県」や「交通の要衝」といった本県の特徴を踏まえた水素等サプライチェーン構築に資するプロジェクトの組成を図るために設立。



SHIGA H2 consortium
(シンボルマーク)



今後のスケジュール (想定)

2025	2026	2030	2040	2050
コンソーシアム組成	詳細調査 (用地、技術等)	FS FEED	実証	小規模供給開始 需要・供給拡大

会員 (19団体)	オブザーバー (10団体)
参天製薬滋賀プロダクトサプライセンター、 滋賀銀行、神港精機、SCREENホールディングス、 積水化学工業、千代田化工建設、JR西日本、 パナソニックEW社、株式会社ヒラカワ、みずほR&T、 三菱重工、村田製作所(野洲)、ヤンマーエネルギーシステム、 彦根市、長浜市、野洲市、東近江市、米原市 他 ※ 赤字はコンソーシアム設立会合以降の参加	近畿経済産業局、福井県、愛知県、三重県、 四日市市、大阪府、兵庫県、県経産協会、 県トラック協会、バイオビジネス創出研究会

※ 順不同

4

令和8年度の取組について

◆水素サプライチェーン構築に向けた拠点整備プロジェクト創出事業



令和8年度予算額：22,000千円

事業の趣旨・目的

令和5年度に改定された政府の水素基本戦略の新たな目標（2040年の水素等導入1,200万トン等）を踏まえ、企業等と連携した拠点整備を目指したプロジェクトを創出を促進する。

事業の内容

① 水素2次需要ハブ形成の実現可能性調査

コンソーシアム企業等と連携を図り、水素1次受入ハブとの連携を想定したしがGXモデル産業団地（仮）を始めとした2次需要ハブ形成についての実現可能性調査を行い、水素の塊需要の創出する。

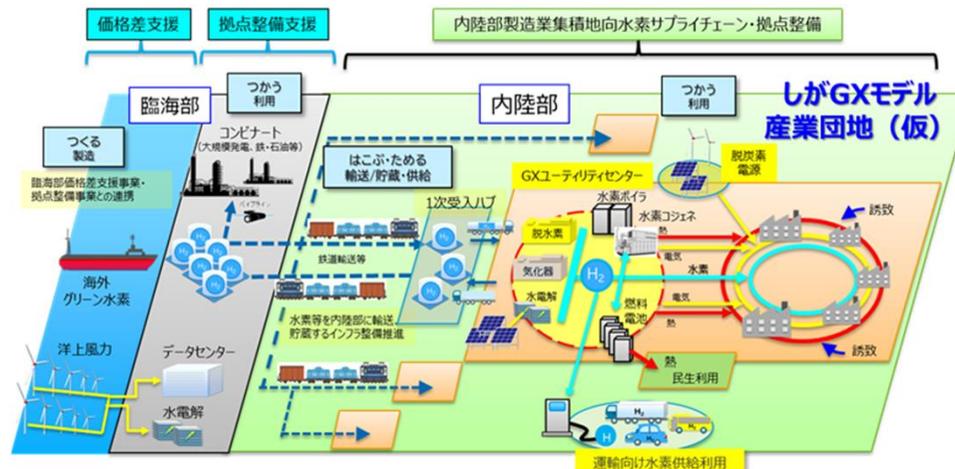
② モビリティ分野における水素需要創出に向けた調査検討

燃料電池商用車の導入促進に向けた関連事業者と連携を図り、モビリティ分野の水素需要を整理し、燃料電池商用車の普及に向けた検討を行う。

③ 企業連携によるプロジェクトの動き出しの促進

①、②の調査結果等を活用し、国等の機関との調整やプロジェクト体制の検討等、企業連携によるプロジェクトの動き出しの促進に資する支援等を行う。

<しが水素拠点形成コンソーシアム>



会員 (19団体)	オブザーバー (10団体)
参天製薬滋賀プロダクトサプライセンター、 滋賀銀行、神港精機、SCREENホールディングス、 積水化学工業、千代田化工建設、JR西日本、 パナソニックEWS社、株式会社ヒラカワ、 みずほR&T、三菱化工機、村田製作所（野洲）、 ヤンマーエネルギーシステム、彦根市、 長浜市、野洲市、東近江市、米原市 他 ※ 赤字はコンソーシアム設立会合以降の参加	近畿経済産業局、福井県、愛知県、三重県、 四日市市、大阪府、兵庫県、県経産協会、 県トラック協会、バイオビジネス創出研究会

今後のスケジュール（想定）

2025	2026	2030	2040	2050
コンソーシアム組成	詳細調査 (用地、技術等)	FS FEED	実証	小規模 供給開始
				需要・供給拡大



SHIGA H2 consortium



しがCO₂
ネットゼロ
ムーブメント

ご清聴ありがとうございました。

